

## 7 令和5年度各支部の活動状況（県南ブロック）

### 土 浦 市

#### 1 土浦市教育研究会特別支援教育部

- 令和5年度研究主題  
「社会の変化に主体的に対応し、心豊かでたくましく生きる児童・生徒の育成」
- 研究テーマ  
「子どもの自立や社会参加を目指した、一人一人の教育的ニーズに応じた支援のあり方」

#### 2 事業内容

- (1) 土浦市教育研究会特別支援教育研究部第1回専門委員会 8月 1日（火）
- (2) 土浦市教育研究会特別支援教育研究部第1回主任会 10月24日（火）  
土浦市教育研究会特別支援教育研究部第2回主任会 R6年 1月30日（火）
- (3) 各中学校区交流学习・合同校外学習
  - ・土浦一・四中地区 11月 6日（月）      ・土浦二中地区 9月12日（火）
  - ・土浦三中地区 12月 1日（金）      ・土浦五中地区 10月17日（火）
  - ・土浦六中地区 11月24日（金）      ・都和中地区 11月16日（木）
  - ・新治学園地区 10月 4日（火）
- (4) ナイスハートふれあいフェスティバルへの作品出展（下高津小が参加）  
12月8日（金）～12月11日（月） ザ・ヒロサワ・シティ会館
- (5) 手をつなぐ子らの作品展 1月20日（土）～26（金）〔土浦市民ギャラリー〕  
土浦市内全小中学校、新治学園義務教育学校、土浦特別支援学校が参加
- (6) 県南地区特別支援教育研究部研修会等への参加

#### 3 今年度の成果

- 中学校区ごとに交流学习や合同校外学習を行った。実施内容や場所は様々だが、各中学校区で工夫した取組を行い、参加した児童生徒が活躍できる場を設定することができた。他校児童生徒との交流も楽しむことができた。
- 手をつなぐ子らの作品展は、各校が作品のアイデアを練り、すばらしい作品が数多く展示され、好評だった。ケーブルテレビ等のメディアの取材を受けたことで、特別支援教育の啓発・広報につながった。
- コロナ禍が明け、各学校の担当者と参集型で打合せや情報共有することができた。

### 石 岡 市

#### 1 石岡市教育研究会特別支援教育研究部

- 研究目標
  - ・児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実
  - ・社会性や豊かな人間性を育むための合同学習や交流、協働学習の推進

#### 2 事業内容

- (1) 第1回特別支援教育研究部研修会 4月27日（木）〔場所：八郷庁舎〕組織づくり
- 第2回特別支援教育研究部研修会 8月9日（火）〔場所：八郷庁舎〕各係打ち合わせ
- 第3回特別支援教育研究部研修会 2月下旬〔書面〕  
本年度の事業反省及び次年度に向けて

- (2) 各中学校区交流学習
  - ・国府中学校区合同学習会 7月13日(木) 日立市かみね動物園へ校外学習
  - ・石岡中学校区合同学習会 10月24日(火) 石岡中学校で交流活動
  - ・府中中学校区合同学習会 11月8日(水) つくばエキスポセンターへ校外学習
  - ・園部中学校区合同学習会 11月9日(木) 大洗水族館へ校外学習
  - ・八郷中学校区合同学習会 11月28日(火) 八郷中学校で交流学習
- (3) ナイスハートふれあいフェスティバル2023 12月8日(金)～11日(月)
 

〔場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館〕市内小中学校14校参加
- (4) 石岡市手をつなぐ子らの作品展 1月24日(水)～28日(日)
 

〔場所：石岡市役所多目的ホール〕市内小中学校21校参加
- (5) 特別支援教育研究部ワークショップ型研修会
 

2月27日(火)〔場所：保健センター〕STRAW-R、LCSA 検査の特徴について
- (6) 石岡市手をつなぐ親の会広報誌「ひびき60号」発行 3月中旬

### 3 今年度の成果

- コロナ禍以前は合同学習会を市内全小中学校合同で実施していたが、支援学級在籍児童生徒数の増加により、今年度は中学校区ごとに合同学習会を実施した。実態に応じた交流活動を行うことができ、子どもたちにとって良い経験となった。
- 市内の多くの学校において特別支援学級が増加し、担当者の入れ替えも多くあった。活動内容の共通理解や特別支援教育への理解を深めるため計画的に研修会を実施し、組織づくり、各係打ち合わせ、グループ研修等を行ったことで、連携しながら見通しをもった活動をすることができた。
- 「石岡市手をつなぐ子らの作品展」の開催場所を昨年度から市役所にした。2年目となった今年度は、多くの方々に見ていただけただけでなく、作品展の運営もスムーズであった。継続させていきたい。

## 龍ヶ崎市

- 1 龍ヶ崎市教育研究会特別支援教育研究部 令和5年度研究テーマ
  - 一人一人の能力や可能性を最大限に伸ばし、自立や社会参加ができる児童生徒の育成をめざして
- 2 事業内容
  - (1) 市教研特別支援教育研究部会開催 7月19日(水)〔場所：龍ヶ崎小〕
  - (2) 県南地区特別支援教育研究協議会 8月21日(月)～9月15日(金)
 

〔オンデマンド開催〕 講話 「特別支援学級における教育課程と学習評価」

講師 藤森 幸子 先生
  - (3) 中学校区ごとによる小中交歓会 11月8日(水)、10日(金)、27日(月)
 

〔場所：市内小中学校〕
  - (4) えがお展準備会 1月10日(水)〔場所：龍ヶ崎小〕
  - (5) えがお展
 

1月25日(木) 作品搬入

1月26日(金) から1月28日(日) 公開

1月30日(火) 作品搬出

〔場所：大昭ホール龍ヶ崎 小ホール〕

- (6) 県南地区知的障害特別支援学級担当者研修会  
2月15日(木)〔場所：茨城県県南生涯学習センター〕  
講演 「知的障害特別支援学級における教育課程と学習評価について」  
講師 常磐大学人間科学部教育学科 藤森 幸子 先生
- (7) 県南地区自閉症・情緒障害特別支援学級担当者研修会  
3月 6日(水)〔場所：本郷ふれあいセンター〕  
研修内容 テーマ「苦戦している児童生徒の理解と支援」  
講師 茨城県立美浦特別支援学校教諭 加来 慎也 先生

### 3 今年度の成果

- 昨年度より中学校区ごとに小中交歓会を実施する形に変更したことで、小中一貫教育を意識した支援が行えた。また、小学生や中学生にとっても、当事者意識が高まり、親しみや思いやりの気持ちをもって、それぞれが主体的に活動し、交歓会を行うことができた。
- 昨年度から再開したえがお展について、持続可能な開催方法について協議・検討し、今後の運営の仕方について確認できた。

## 取手市

### 1 取手市教育研究会特別支援教育部 令和5年度活動状況

- 令和5年度 研究テーマ  
「児童生徒一人一人の理解と支援のあり方」

### 2 事業内容

- |     |               |   |               |
|-----|---------------|---|---------------|
| (1) | 4月13日         | 取手市教育研究会定期総会・部長会  | [取手市役所藤代庁舎]   |
| (2) | 4月20日         | 【市一斉研修】特別支援教育研究部研修会<br>・研究主題 ・組織の確認 ・年間の見通し             | [取手東小]        |
| (3) | 5月・6月         | 特別支援教育研究部「新入生歓迎会」                                       | [各小中学校]       |
| (4) | 8月 9日         | 市教育研究会夏季一斉研修  | [取手市民会館]      |
| (5) | 10月27日        | 特別支援教育研究部研修会<br>・授業参観                                   | [取手小]         |
| (6) | 11月 1日        | 特別支援教育研究部研修会<br>・提案授業の振り返り<br>・今後の研修の在り方について            | [オンライン開催]     |
| (7) | 12月 1日～12月10日 | 取手市美術展に参加<br>・特別支援学級児童生徒の作品展示<br>・[とりでつばさ展]としてコーナーを設ける。 | [とりでアートギャラリー] |
| (8) | 2月～           | 卒業を祝う会  | [各小中学校]       |
| (9) | 2月21日         | 特別支援教育研究部運営会議<br>・今年度の活動の反省<br>・次年度の活動について              | [オンライン開催]     |

### 3 今年度の成果

- 昨年度から、計画訪問時に輪番制による担当校の授業参観を実施している。授業参観をすることにより、児童のがんばりや思い、授業者の思いが伝わり、とても参考になった。また、計画訪問時に授業参観をさせてもらっているため、授業者・担当者の負担も軽減

- でき、好評であった。
- 提案授業の振り返りや各自の授業における課題について、オンラインによる協議を行った。今年度は、小グループでの話合いの時間も設定し、提案授業についての感想や意見だけでなく、それぞれの学校、担当者の課題をもとに、今後の改善点について具体的に話し合うことができた。
  - 特別な教育的ニーズのある児童・生徒の理解と対応について、動画視聴・研修協議等で研修を深めることができた。

## 牛久市

### 1 研究主題

- 児童生徒一人一人のニーズに応じ、社会性を育成するための自立活動の工夫

### 2 事業内容

- (1) 牛久市教育研究会特別支援教育研究部会 6月2日 (場所：牛久小学校)
- (2) 第1回 特別支援教育部員研修会 8月2日 (場所：牛久小学校)
- (3) 中学校区夏季研究協議会 8月4日 (場所：各学区内の中学校)
- (4) 県南地区 担当者研修会 8月 (動画視聴)
- (5) 小中学校交流会 10月～12月 (各中学校区)
- (6) ナイストふれあいフェスティバル2023  
12月8日(金)～11日(月) (場所：ザ・ヒロサ・シティ会館) 3校参加
- (7) 特別支援教育に係る学校訪問 12月15日(金) (牛久小学校)
- (8) 第30回かがやき展(手をつなぐ子らの作品展)  
令和6年2月2日(金)～4日(日)  
(場所：牛久市中央生涯学習センターエントランスホール)
- (9) 県南地区知的担当者研修会 2月15日 県南生涯学習センター
- (10) 県南Bブロック自・情学級担当者研修会 3月6日 (本郷ふれあいセンター)
- (11) 「年間活動のまとめ」作成、次年度への引継ぎ  
2月 (場所：各担当校)

### 3 今年度の成果(成果については、いくつ記載しても結構です。)

- 特別支援研究部夏季研修会は、市内の特別支援学級担任が参加し、講師の先生へあらかじめ質問事項を伝えておいたため、丁寧に回答していただき充実した研修だった。
- 牛久市中央生涯学習センターで開催された第30回かがやき展(手をつなぐ子らの作品展)は、各児童の自己肯定感が上がり、各自の自信につながるものとなったため有意義だった。
- 市内小・中・義務教育学校(計13校)でローテーション表を基に担当者を決め、運営・実行しているため、役割がはっきりして、何事もスムーズに実践することができた。

## つくば市

### 1 研究主題

研究テーマ「一人一人のニーズに応じた支援の在り方を工夫した教育活動の推進」

### 2 事業内容

- (1) つくば市教育研究会総会 5月8日(月) [場所: オンライン]
- (2) 特別支援教育研究部代表部員会 6月30日(金) [場所: 荃崎第二小学校]
- (3) 県南地区特別支援教育協議会  
8月21日(月)～9月15日(金) [場所: オンデマンド]  
講話 「特別支援学級における教育課程と学習評価」  
・特別支援学級における教育課程( )  
・自閉症・情緒障害特別支援学級の教育課程について  
講師 常磐大学人間科学部教育学科  
公認心理師 臨床発達心理士 特別支援教育士  
元茨城県教育研修センター特別支援教育課長・前茨城県土浦市立都和南小学校長  
藤森 幸子 先生
- (4) 手をつなぐ子らの作品展 10月～2月 [場所: 各学園・学校]
- (5) 県南地区難聴・言語障害教育担当者研修会  
11月21日(火) [場所: オンライン]  
講話 「吃音～吃音の基本と支援～」  
講師 医療法人惇慈会日立港病院 言語聴覚士 磯野 敦 先生  
事例紹介 「地域の小学校で学ぶ難聴児への支援の実際課題」  
つくば市立竹園東小学校 難聴学級 奥沢 忍 先生
- (6) ナイスハートふれあいフェスティバル 2023(九重小・吾妻小参加)  
12月7日(木)～11日(月) [場所: ザ・ヒロサワ・シティ会館]
- (7) 県南地区Cブロック自閉症・情緒障害特別支援学級担当者研修会  
1月31日(水) [場所: オンライン]  
講演 「自閉症・情緒障害特別支援学級における授業づくり～教育課程・自立活動を中心に～」  
講師 茨城県教育研修センター 特別支援教育課 指導主事 兼巻 照美 先生
- (8) 県南地区知的障害特別支援学級担当者研修会  
2月15日(木) [場所: 県南生涯学習センター]  
講演・演習 「知的障害特別支援学級における教育課程と学習評価」  
講師 常磐大学人間科学部教育学科  
公認心理師 臨床発達心理士 特別支援教育士  
元茨城県教育研修センター特別支援教育課長・前茨城県土浦市立都和南小学校長  
藤森 幸子 先生

### 3 今年度の成果

- 特別支援教育研究部の今後の役割分担・ローテーションを確認できた。
- 手をつなぐ子らの作品展については、各校や学園の工夫のもと1,100名の児童生徒が参加できた。

## 守 谷 市

### 1 研究テーマ

「個々の発達段階や教育的ニーズに応じた学びの充実を図るための指導の在り方」

### 2 事業内容

- 第1回守谷市特別支援教育研究部会  
5月16日(火) オンライン開催 組織づくり、年間活動計画作成
- 「GoogleClassroom」を活用した特別支援教育に関する情報交換 通年
- 関東甲信越地区特別支援教育研究協議会  
8月4日(金) 於 栃木県教育会館他  
第8分科会(医療的ケア児への指導・支援)参加
- 県南地区Aブロック特別支援教育担当者研修会  
8月8日(火) 於 取手福社会館
- 県南地区特別支援教育研究協議会  
8月21日(月)～9月15日(金) オンデマンド視聴
- 第2回守谷市特別支援教育研究部研修会  
9月20日(金) 於：市役所  
研修「特別支援教育におけるICTの活用について」、各部打合せ
- 全特協関東甲信越地区研究協議会栃木大会  
11月10日(金) オンライン参加
- 県南地区難聴・言語障害教育担当者研修会参加  
11月21日(火) オンライン参加
- 守谷市特別支援教育に係る児童生徒作品展(「つばさ展☆MORIYA☆」)開催  
1月20日(土)～1月29日(月) 於：イオンタウン守谷
- 県南地区知的障害特別支援学級担当者研修会  
2月15日(木) 於 県南生涯学習センター
- 第3回守谷市特別支援教育研究部研修会  
2月20日(火) オンライン開催 今年度の反省等
- 広報誌「みらい」発行  
7月3日(月)、7月20日(木)、2月8日(木)

## 稲 敷 市

### 1 令和5年度研究テーマ

- 「一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進」

### 2 事業内容

- (1) 組織づくり、研修テーマの決定、活動計画立案  
→ 研究部長を中心に、電話で連絡を取り合いながら決定
- (2) 県南地区特別支援教育研究協議会  
→ オンデマンド 8月21日(月)～9月15日(金) [場所：市内各学校]
- (3) 第57回関東甲信越地区特別支援教育研究協議会栃木大会(8月4日)  
→ 代表者1名(特別支援教育研究部長)が参加

(4) 「ナイスハートふれあいフェスティバル 2023 美術展」(12月8日～12月12日)  
→ 今年度は参加校なし

(5) 稲敷市「手をつなぐ子らの作品展」  
→ 1月18日(木)～25日(木)〔場所：江戸崎中央公民館〕

### 3 今年度の成果

コロナ禍により対面での研修会は実施しなかったが、「手をつなぐ子らの作品展」を、公民館を会場として開催することができた。地域の方々にも子どもたちの活動の様子を知っていただくよい機会となった。

## かすみがうら市

### 1 研究主題

○ 「一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方をめざした教育活動の推進」

### 2 事業内容

(1) 第1回研究部研究部員会(組織、年間活動計画作成等) 5月 書面

(2) 令和5年度かすみがうら市教育研究会特別支援教育研究部夏季研修会

8月24日(木) 〔場所：あじさい館(かすみがうら市)〕

講演「配慮が必要な児童生徒の特性に応じた個別の指導計画作成の仕方

～自立活動の目標、指導内容(具体的な手立て)を中心に～

講師 土浦特別支援学校 地域相談センター 教諭 小泉 真 先生

(3) ナイスハートふれあいフェスティバル2023

12月7日(木)～12月11日(月) 〔場所：ザ・ヒロサワ・シティ会館〕

(4) かすみがうら市「手をつなぐ子らの作品展」

1月15日(月)～29日(月) 〔場所：カスミ千代田店〕

(5) 第2回研究部研究部員会(今年度の反省と次年度の取組)

2月13日(火) 〔場所：霞ヶ浦北小学校〕

### 3 今年度の成果

○ 特別支援教育研究部夏季研修会では、市内の特別支援学級担任全員が参加し、講師の先生から自立活動についてのお話を聞くことができ、充実した研修会となった。

○ 手をつなぐ子らの作品展については多くの方に作品を見ていただくことができた。

## つくばみらい市

### 1 研究主題

○ 「一人一人のニーズに応じた特別な支援の在り方を目指した教育活動の推進」

### 2 事業内容

(1) 組織づくり及び活動計画

・中学校区ごと、推進委員を中心に立案

・臨時研究部員会 7月3日(月)で決定

(2) 関東ブロック宇都宮大会 8月4日(金)〔場所：栃木県教育会館〕

・特別支援教育研究部長の参加

(3) 県南地区Aブロック特別支援教育担当者研修会 8月8日(火)〔場所：取手福祉会館〕

- ・講演 行動面で気になる子の「本当の理解」とは  
～子供に届く“行動面の支援”を行うために～  
講師 茨城県立美浦特別支援学校 加来慎也 先生
  - (4) 第1回特別支援教育研究部研修会 10月10日(火) [場所:つくばみらい市立豊小学校]
    - ・ナイスハートフェスティバル2023 美術展参加、手をつなぐ子らの作品展の開催について
    - ・情報交換
  - (5) 合同学習会 12月1日(金) [場所:小絹中学校]
    - ・小絹中学区で開催
    - ・内容 竹細工の工作と焼き芋づくり
    - ・参加者 小学生27名 中学生8名 計35名
  - (6) ナイスハートふれあいフェスティバル2023 美術展  
12月7日(木)～11日(月) [場所:ザ・ヒロサワシティ会館]
  - (7) 市「手をつなぐ子らの作品展」2月上旬 [Web開催]
  - (8) 第2回特別支援教育研究部研修会 2月下旬 [場所:つくばみらい市立豊小学校]
    - ・今年度の反省及び次年度の取り組みについて
- 3 今年度の成果
- ・県南地区Aブロック特別支援教育担当者研修会(取手福社会館)は、つくばみらい市からもほぼすべての特別支援学級担任が参加し、講師の先生から貴重なお話を聞くことができ、充実した研修会となった。
  - ・市「手をつなぐ子らの作品展」は、開催時期、開催場所、観覧者等を勘案し、本年度はWeb上での開催を試みた。次年度以降も、より良い開催方法について検討していく。

## 稲敷郡

### 1 研究主題

- 児童生徒の実態に応じた指導内容とその指導方法の工夫

### 2 事業内容

- (1) 稲敷郡教育研究会総会 4月14日(金) (部長のみ参加)
- (2) 県南地区特別支援教育研究協議会への参加(オンデマンド参加) 8月21日(月)  
～9月15日(金)
- (3) ナイスハートふれあいフェスティバル2023 出展(竹来中・阿見中が出展)  
12月8日(金)～11日(月) [場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館]
- (4) 県南地区特別支援教育郡支部長等研修会への参加(郡支部長参加) 12月12日(火)  
[場所:土浦小学校]
- (5) 郡手をつなぐ子らの作品展 1月16日(火)～21日(日) [場所:阿見町中央公民館]  
児童生徒参加人数 291人 展示作品数 346点 来場者数 139人
- (6) 県南地区知的障害学級担当者研修会への参加(設置校1名参加) 2月15日(木)  
[場所:県南生涯学習センター]  
講師 常磐大学人間科学部教育学科 藤森 幸子 先生  
テーマ 「知的障害特別支援学級における教育課程と学習評価について」
- (7) 県南地区自閉症・情緒障害学級担当者Bブロック研修会への参加

(自閉症・情緒学級担当者参加) 3月6日(水) [場所: 本郷ふれあいセンター]  
講 師 茨城県立美浦特別支援学校 教諭 加来 慎也 先生  
テーマ 「苦戦している児童・生徒の理解と支援」

### 3 今年度の成果

- 研究部会や研修については、コロナ5類対応のため対面での実施が可能となった。
- 今年度から郡単独での開催となった「手をつなぐ子らの作品展」は、出展数は昨年より多くなっており盛況に終わった。
- 県ナイスハートふれあいフェスティバルの参加校も増え次年度に向けてもアピールしていきたい。
- 研修会等については、対面での研修会が可能となったことから、参加者それぞれの課題をもって臨み、実のある研修となった。

## 北 相 馬 郡

### 1 研究テーマ

自立と社会参加を目指し、一人一人の「生きる力」を培う特別支援教育の実践

### 2 主な研修・活動

- 町特別支援教育研究部会開催<7月14日(金) 利根町立利根小学校>
  - ・部会組織の確認
  - ・テーマの決定
  - ・年間活動計画の作成
- 県南地区Aブロック特別支援教育研修会参加 <8月8日(火) 取手福祉会館>
- 県南地区特別支援教育夏季研修会参加<8月21日(月)~オンデマンド>
- 県南地区難聴・言語障害教育担当者研修会参加<11月21日(火) オンライン>
- 利根町小中学校特別支援学級交流会<2月19日(月) 利根小学校>
  - ・主な活動(グループ活動 ゲーム 振り返り)
- ナイスハートふれあいフェスティバル作品展 参加校なし
- 利根町教育研究会発表会
  - ※書面での報告

### 3 今年度の成果

今年度は、小学校3校が統合し1校となり、特別支援学級に在籍する児童も環境の変化に戸惑う様子が見られたが、担当者が協力し、一人一人のニーズに合った支援を行うための準備や教材研究、研修会への参加等により、充実した特別支援教育を展開することができた。また、コロナも5類に移行したことから、小中合同による交流会を実施することができた。